

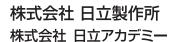
2019.10 - 2020.3 コースフロー/コースカリキュラム

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、 内部統制といった、 コンプライアンス意識向上に 不可欠な知識が修得できます。

https://www.hitachi-ac.co.jp/

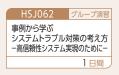
日立アカデミーホームページ

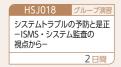


コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制 といった、コンプライアンス意識向上に不可欠 な知識が修得できます。

• モニタリング: 内部統制が有効に機能しているかを継続的に監視する



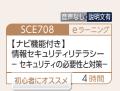


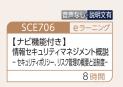
• 記録管理: 内部統制の状況の確認、不正の発見、不正の抑止効果、内部統制の有効性の説明のために、 企業活動を網羅的かつ正確に記録として残し管理する

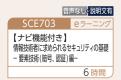




● セキュリティ管理:内部統制を実現するシステムが不正にアクセスされることを防止・抑止するためのセキュリティを管理する







音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有。現現ない :収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声ない。<mark>以明文有</mark> : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント (PDU) を取得できます。







初心者にオススメニコンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。













• システム運用管理:内部統制を実現する各システムが正しく導入・運用されることを保証するために管理する



JPJ291 マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1 -資産管理編-1日間

JPJ295/JPJ295T マシン実習 JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 1日間

音声なし+説明文有 【ナビ機能付き】 運用管理概説 初心者にオススメ 6時間

ITJ004 グループ演習 システム運用の現状分析・ 設計力養成ワークショップ

JPJ280/JPJ280T JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定-

マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2 ーセキュリティ管理編-1日間

レクチャ JP1コンサルタント 統合管理 1日間

ITJ008 グループ演習 情報システム運用入門 ー運用からITサービスへ-日間

PD0 ITJ012 (PDU) ITIL® ファンデーション (認定試験付)

JPJ281/JPJ281T JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース 4日間

JPJ293/JPJ293T マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3 -配布管理編-1日間

レクチャ JP1コンサルタント パフォーマンス管理 1日間

ITJ009 グループ演習 IT運用における ヒューマンエラー予防 日間

CLD001 グループ演習 事業と技術の観点から検討 するクラウドへの移行と管理 Cloud Essentials —

JPJ282/JPJ282T JP1プロフェッショナル

パフォーマンス管理

2日間

JPJ294/JPJ294T マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース 3日間

レクチャ JP1コンサルタント 資産・配布管理 1日間

音声なし+説明文有 SLAにおける サービスレベル設計の基礎 4時間

音声有 - 翌明文有: 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし :収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。 音声はい<mark>説明文有</mark>:学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメニコンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント (PDU) を取得できます。



















HSJ062



事例から学ぶ システムトラブル対策の考え方 −高信頼性システム実現のために−

情報化社会におけるコンピュータシステムは、組織や社会のインフ ラを支えるという極めて重要な役割を担っています。これらのシステムに障害が発生すると、ビジネスに与える影響は非常に大きな ものとなるため、今日の情報システムには高い信頼性と安全性が 求められています。システムトラブル対策の実践的知識を学習します。IT技術者が開発段階や運用段階で実施すべきトラブル対策の ポイントを、解説とグループ演習を通して学習します。

- ・システムトラブル発生状況とその対策実施状況を確認で きる。
 - 開発段階と運用段階で留意すべきトラブル対策のポイント を理解できる。
 - ・システムトラブルマネジメントシステムの構築手順を理解で

対象者 プロジェクトマネージャ、システム開発担当者、システム運 用担当者の方、システム品質管理担当者、ISMS導入担当 者、内部監査担当者の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

- 内 容 1 今なぜシステムトラブル対策なのか (1)システムトラブル統計情報 (2)トラブル防止に向けた取り組み
 - 2. 開発段階で実施するトラブル対策 (1) 開発段階における留意事項
 - (2) 開発段階での対策提言
 - 3. 運用段階で実施するトラブル対策
 - (1) 運用段階における留意事項
 - (2)運用段階での対策提言
 - 4. システムトラブルをマネジメントする
 - (1)トラブル情報の収集とその活用
 - (2)原因分析と対策立案

5. まとめ

講師:前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 前橋 雅夫氏(公認システム監査人)

- 備考・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただき ます。
 - ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研 修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいてお ります。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ018



システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から-

情報システムの開発業務や運用業務で発生したトラブル事例を、 予防処置と是正処置の観点から分析し、自らの職場において同様 のトラブルを引き起こさないようにするためには何をするべきか、 その対策ポイントについて研究・学習します。

■睡耳憶 ・情報システムの開発業務や運用業務でトラブルを引き起こ さないための対策ポイントを説明できる。

- ・システムトラブルの原因分析ならびに対策立案の手法を説 明できる。
- ・ケーススタディ演習において、システムトラブルの原因分
- 析ならびに対策方法を立案できる。 対象者 ISMS導入を担当する方、ISMS内部監査人、プロジェクトマ

ネージャ、システム開発・運用を担当する方。 前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容 1. 今なぜシステムトラブルの予防と是正なのか (1)情報セキュリティ対策の実施状況(2)システムトラブルの発生状況ほか

2. 情報セキュリティ概論

(1)情報資産とは

(2) 脅威と脆弱性ほか

- 3. システムトラブルを未然に防止する
 - (1) 物理的な事前対策
 - (2)技術的な事前対策
 - (3) 管理的な事前対策
- (4)システム監査によるトラブル防止ほか
- 4. システムトラブルの再発を防止する
- (1) セキュリティ事件・事故への対処
- (2)システムトラブル報告書
- (3) ヒューマンファクタ分析ほか
- 5. まとめ
 - (1)危機管理の鉄則

講師:前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 前橋 雅夫氏(公認システム監査人)

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただき ます。

> ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研 修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいてお ります。ご了承のほどよろしくお願いいたします。















各種研修サービスに関するお問い合わせ

日立議督会お問い合わせ窓口 ▷ https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html